

家庭部会「研究集録」の執筆規定

1 用紙・レイアウト等

(1) 用紙A4 縦, 45 字×40 行

(2) 使用するフォントおよびサイズ

- ・各郡市名・・・MS明朝, 14ポイント
- ・見出し・・・MSゴシック, 10.5ポイント
- ・コンマは「,」を使用する。
- ・見出しに使用する数字や記号は全角とし, 以下の順で用いる。

1 ゴシック → (1) これのみ半角ゴシック → ここからは明朝で → ① →
ア または ○ → ・

- ・() ○ ・ のあとは1マス空けない。

(3) 表現文体は, 常体とする。

2 用語・表記

基本的に学習指導要領で用いられている用語や表記を用いる。

次の用語は統一したいと思いますので, ご協力ください。

子供たち	子供	取組	確か	また	さらに	したがって	なお
一人一人	友達	目指す	気付く	互いに	様子	話し合い	自ら

3 参考文献・引用文献の記載

〈引用文献〉

大木道則著 「新訂 家庭科」, 新興出版社, 1991, P. 5

※引用が複数ページにわたるときは P. 2-3 というように書く

〈参考文献〉

大木道則著 「新訂 家庭科」, 新興出版社, 1991

4 写真・表

写真は適宜文中に入れる。児童の顔, 名前などには気を付ける。

表は, 指導案や授業記録など参考になる資料は掲載にご協力ください。表は縮小して貼り付けてくださっても結構です。

例

〇〇市・郡家庭部会

1 はじめに

〇〇郡・市家庭部会では、

〈1行空ける〉

2 研究の柱

本年度は、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせる問題解決的な学習の工夫」を研究の柱とし、伝統的な日常食である米飯とみそ汁の題材について研究を進めた。

〈1行空ける〉

3 研究の取り組み

7月30日 夏季研修会「日常生活で使用する物を入れる袋の製作」 会場〇〇小学校

講師 ○○学校 ○○ ○○教諭

11月26日 授業研究会「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」 会場〇〇小学校 5年

授業者 ○○小学校 ○○ ○○教諭

指導助言者 ○○センター ○○ ○○指導主事

〈1 行空ける〉

4 研究の実際

(1)題材 ○○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 指導案

--	--	--

(3) 授業研究協議

4 研究の実際については、指導案や授業記録、開発した教材教具、研究協議、指導助言などをおまとめください。表・写真・ワークシートなども入れてください。

〈1 行空ける〉

5 おわりに

[illegible]

本年度の研究の柱にそった，成果，または課題などについて，簡単におまとめください。また，〈参考文献〉がありましたら最後に書いてください。